



内視鏡室の取り組みを紹介します

西部メディカルセンターの内視鏡室は、2018年10月1日のセンター開院に合わせて診療を開始しました。

内視鏡検査は、口または鼻から内視鏡を挿入して食道や胃、十二指腸を検査する上部消化管内視鏡検査と、肛門から内視鏡を挿入して大腸を検査する下部消化管内視鏡検査があります。

当院の内視鏡室は2部屋あり、主に上部消化管内視鏡（胃カメラ）検査を行い、下部消化管内視鏡（大腸カメラ）検査の場合は、X線透視室を利用して行います。

当院では、昨年1月から12月までの1年間で、胃カメラ1,529件、大腸カメラ687件、ERCP（内視鏡的逆行性膵胆管造影）30件、内視鏡を使った治療は215件行い、患者さんの健康維持や健康回復に大きく貢献しました。

また、内視鏡検査の記録は、内視鏡情報管理システムで一括管理、洗浄消毒は内視鏡洗浄消毒システムを使用し、しっかりと処置し、より一層の安全を確保しています。

検査を受ける患者さんには、安心して検査を受けていただけるよう、前処置や薬剤の服用方法などの事前説明



西部メディカルで内視鏡診療にあたるスタッフ
前列右から…竹澤 敬人 医師 山本 雅由 副院長
田邊 義博 病院長補佐 藤本 将友 医員
後列左から…中島 由美 救急外来師長
竹内 雅子 看護師

を、薬剤師や事務職員が詳しく行います。

さらに月に1回、院内で内視鏡管理運営委員会を開催し、内視鏡の管理や諸問題の対策を検討し、より安全に検査が進められるよう日々努力しています。

正確な診断、的確な治療を行うのはもちろんですが、患者さんになるべく負担が少なく、安全に行うことを第一に心掛けて行いますので安心して来院してください。

このシリーズは、今号で一旦終了となります。これからも茨城県西部メディカルセンターは、安心安全な診療と信頼、そして地域に愛される病院を目指していきます。

いざという時は、安心してお越しください。

教えて！筑西診療所

市民のみなさんからの疑問・質問にお答えします。

Q.1 いつでも誰でも受診できますか？

A. 平日午前中は8時30分から11時の受付時間で外来診療を行っています。予約なしでも受診することができますが、予約の患者さんが優先となります。また、午後は医師が患者さん宅へ訪問し、診療を行うため外来診療は行っていません。診療は内科が専門になりますが特定の診療科にこだわらず総合的な外来診療を行っています。必要があれば茨城県西部メディカルセンターをはじめ他院へ紹介します。

Q.2 訪問診療ではどんなことができますか？

A. 医師などの医療従事者が訪問して行う診察や治療などの医療行為には特に制限はありません。365日、24時間病院と同じように医療を受けることができ、身体の状態を継続して確認します。

Q.3 訪問看護は何をしてくれますか？

A. 健康状態の観察、症状悪化の防止・回復、点滴注射、褥瘡や創傷処置などの医療処置、チューブ類など医療機器の管理、療養生活の相談とアドバイス、介護方法のアドバイス、痛みの軽減や服薬管理、緊急時の対応、主治医・ケアマネジャー・薬剤師・歯科医師との連携、リハビリテーションなどを行います。

Q.4 訪問診療、訪問看護を希望するにはどうすればいいですか？

A. 受診している医療機関、ケアマネジャー、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、市町村の介護保険や障がい福祉の担当窓口などでご相談ください。

Q.5 居宅介護支援事業所はどんなことをしていますか？

A. 介護保険に関する各種申請代行、ケアプランの作成、介護サービス事業者との連絡・調整、福祉用具や住宅改修の相談などを行っています。



☎ 筑西診療所 ☎ 28-2261
HP <https://www.iwmo.or.jp/page/dir000008.html>